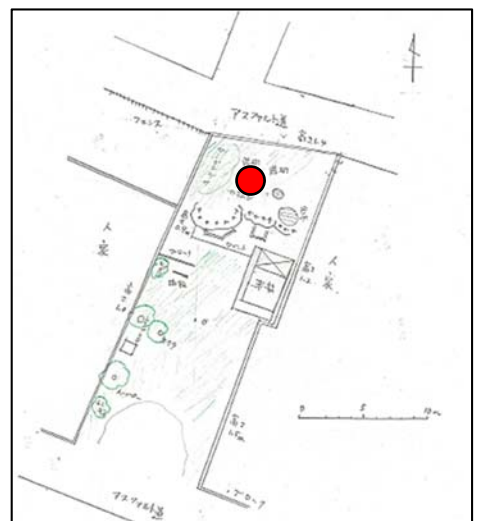


### 字嘉手納拝所の大ガジュマル



樹種名	ガジュマル	科名	クワ科	方言名	ガジュマル	学名	<i>Ficus microcarpa. L.f.</i>					
形状・寸法	樹高 9.1 m	胸高周囲 11 m	根本周囲 11.9 m	樹幹占有面積 228 m <sup>2</sup>								
	枝下高 3.5 m	枝張 東 4.3 m	西 11.5 m	南 6.3 m	北 12 m	最大樹冠幅 18.3 m						
通称	字嘉手納拝所のガジュマル		樹齢 240 年(推定)	所有者	1 国 2 県 3 市町村 4 ④その他公有 5 社寺 6 個人 7 会社 8 その他民有 9 不明							
所在地	嘉手納町字嘉手納34			状況	1 ①単木 2 樹叢中 3 樹林中 4 その他							
立地場所	1 公園 2 庭園 3 個人の庭・屋敷 4 公共施設 5 学校 6 神社寺院 7 ⑦拝所 8 市街地 9 街路 10 その他 (史跡)			気象条件	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	保護制度	1 国指定天然記念物 2 県指定天然記念物 3 ③市町村指定天然記念物 4 景観重要樹木 5 保存樹(村文化財 1997年3月指定) 6 名木 7 その他 8 なし			平均気温(°C)	16.6	16.8	19.0	22.2	24.9	28.7	
周囲の状況		1 樹林 a 大面積山林 b 小面積山林 2 芝地 3 耕地 4 ④建物の間 5 道路 6 河川 7 湖沼 8 その他 ( )			(最寄りのア ダスター)	風向	N	N	N	SSE	SSW	SSW
	土地傾斜	1 平坦(0~5°) 2 ②緩(5~15°) 3 中(15~30°) 4 急(30~45°) 傾斜方向:			地点:那覇	月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
土壌		1 ①堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ( )			2015年	平均気温(°C)	29.0	28.7	27.8	25.5	23.8	20.1
	基岩・母材				年平均気温	23.6 °C		最高気温 33.8 °C				
地形	1 山地 2 ②丘陵地 3 台地 4 平地 5 尾根 6 中腹 7 谷 8 窪 窪 9 カルスト 10 埋め立て地 11 海岸段丘 12 その他			潮風の影響	1 ①なし 2 ややある 3 ある 4 やや強く受ける 5 強く受ける(特記)							
	土性	1 砂壤土:大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土:砂と粘土が半々 3 埴壤土:大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 ④埴土:ほとんど砂を感じない			日照条件	1 ①良い 2 普通 3 やや不良 4 不良						
根元及び周囲の植生		草本 ①密生 2 疎 3 なし 低木 1 密生 2 ②疎 3 なし			周辺樹木の 影響	1 なし 2 ②わずかにある 3 ある 4 かなりある 5 深刻((状況))						
管理状況	1 柵 a 有 ②無 (有の場合の高さ m、材質 ) 柵内面積 ( m <sup>2</sup> ) 設置年 2014年 2 支柱 a 有 ②無 3 剪定 a 強 ②弱 c 無 d 枝折等の都度処理 4 施肥 a 有 ②無 (有の場合 回数 種類 ) 5 薬剤散布 a 有 ②無 (有の場合 回数 種類 ) 6 解説板 ②a 有 ②b 無 7 避雷針 a 有 ②b 無 8 定期的な草刈・掃除 ②a 有 b 無 9 その他 嘉手納共学会管理			周辺根元の 状況	1 土壌の固結がなくきわめて良好 2 固結はあまりなく概ね良好 3 ③固結している ②a 踏圧あり b 踏圧なし							
	過去の治療歴と内容				周辺樹木 との関係	1 影響なし 2 僅かに影響を受けている 3 ③かなり影響を受けている 4 深刻な影響を受けている						
故事来歴	1 無 2 ②信仰対象 3 禁忌(タブー) 4 祭事 a 有 b 無 5 いわれの内容 移住記念木 6 不明											
視認性	1 遠方からも目立つ 4 敷地内にはいるとよく見える			2 ②近くに行けば見える 3 直前まで見えない 5 敷地内に入っても見えない (理由 )								
特記事項	1 動物生息 a 有 ②無 (有の場合動物の種類 ) 2 着生植物 ②a 有 b 無 (有の場合植物の種類 オオイシ、ハマシビロ、クスノキ等 ) 3 見学・参観者 a 有 ②b 無 (有の場合その数) 4 その他 観光スポット											

地上部の衰退度判定（認定番号88）

評価項目	評価基準				
	0	1	2	3	4
1 樹勢	旺盛な生育状況を示し被害が全く見えない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状況が極めて劣悪である	殆ど枯死
2 樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
3 枝の伸長量	正常	幾分少ないが、目立たない	枝は短くなり、細い	枝は極度の短小、ショウガ状の節間がある	下からの萌芽枝のみ僅かに生長
4 梢や上枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い	著しく多い	梢端がない
5 下枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い、切断が目立つ	著しく多い、大きな切断がある	ほとんど健全な枝端がない
6 大枝・幹の損傷	なし	少しあるが回復している	かなり目立つ	著しく目立つ大きく切断されている	大枝・幹の上半分がかけている
7 枝葉の密度	枝と葉の密度のバランスが取れている	0に比べてやや劣る	やや疎	枯死が多く葉の発生が少なく、著しく疎	ほとんど枝葉がない
8 葉の大きさ	葉が全て十分な大きさ	所々に小さい葉がある	完全にやや小さい	全体に著しく小さい	僅かな葉しかなく、それも小さい
9 樹皮の傷	傷はほとんどなし	穿孔・傷が少しあるがあまり目立たない	古傷がある	傷からの腐朽が著しい	大きな空洞、剥がれがある
10 樹皮の新陳代謝	樹皮は新鮮な色をしていて新陳代謝が活発	普通	樹皮に活力がない	著しく活力がない	樹皮の大部分が枯死
11 胴吹き・ひこばえ	枝は量が多く胴吹きひこばえもない	枝葉量が多いが胴吹き又はひこばえもある	枝葉量が少なく胴吹き、ひこばえがある	枝葉量が極めて少なく、胴吹きひこばえが多い	枝葉量が極めて少なく胴吹き、ひこばえも少ない

衰退度 = 各項目の評価値の合計 / 11 (評価項目) = 1.45

衰退度判定基準

衰退度区分	I	II	III	IV	V
		0.8未満 良	0.8~1.6未満 やや不良	1.6~2.4未満 不良	2.4~3.2未満 著しく不良

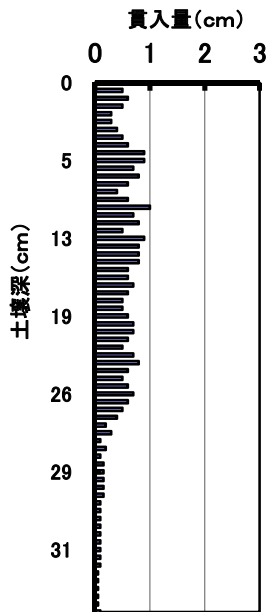
倒木・枝折れ等危険度判定

項目	判定			
	安全	可能性あり	可能性高い	明らかに危険
通行者・建物等との位置関係	○			
根返り	○			
幹折れ			○	
大枝折れ				○
中・小枝落下		○		
幹の傾斜の増大	○			
その他				

土壤調査結果（認定番号 88）

層位	土壤色	深さ	構造	土性	pH	EC(dS/m)
A	5YR2/3	0-15	粒状	埴土	8.1	1.5
C	-	15-	-	-		

土壤貫入量結果



部位	所見	対応
土壌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・珊瑚石灰岩の岩盤上に生育している。</li> <li>・土壌は島尻マージで土層は 0～30cm 程度である。</li> <li>・粒状構造で層位は持たない。</li> <li>・pH、EC はそれぞれ 8.1、1.4～2.7(dS/m)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拝所後方の踏圧防止策を検討する。</li> </ul>
根	<ul style="list-style-type: none"> <li>・踏圧が著しく、露出根に傷が多い。</li> <li>・古い根(支柱根)は新しい根に覆われるが、枯死しており、イチジクカミキリの食害痕、脱出孔が多く見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枯死した幹、大枝、中枝の切除を緊急に行うことを検討する。</li> <li>・イチジクカミキリの駆除を検討する。</li> <li>・駆除は若い枝幹を中心に行う。</li> </ul>
幹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イチジクカミキリの被害により、古い幹は枯死し、黒変している。</li> <li>・被害は幹の分岐部に集中しており、折損・落下が懸念される。</li> <li>・幹の腐朽部からヒラタケが発生。</li> </ul>	<p>《現在考えられる駆除の方法》</p> <p>食害を受けた部位の樹皮を剥いでフラスを除去し、穿入孔を見つけ、</p> <p>①穿入孔から針金等で刺殺するか木部を削り取り、捕殺する。</p>
枝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枝、中枝にカミキリの食害痕が目立つ。特に枝の分岐点に集中しており、落枝の可能性が高い。</li> <li>・大枝にキクラゲが発生している。</li> </ul>	<p>②傷口は腐朽しやすいのでフラスを除去した後に殺菌剤入り癒合剤等の塗布を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キノコ類の着生した幹、枝は切除を検討する。</li> </ul>
葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着葉量、葉の大きさは普通。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無し</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イチジクカミキリの食害が激しい。早急に駆除する必要があると考える。</li> <li>・古い幹上部の処理は緊急を要すると考える。</li> </ul>	

